

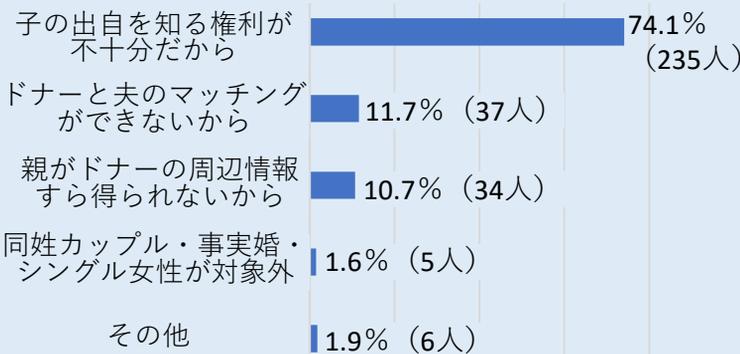
特定生殖補助医療法案の賛否に関する2回目の調査結果

調査期間	2025年4月13日～16日正午										
対象者	はらメディカルクリニックで精子提供の生殖補助医療をうける夫と妻										
調査方法	調査の目的、法案の内容を説明した上で、法案の賛否と理由をオンラインにて調査										
回答数	420人（直近2年間の本治療通院患者数に占める回答率：31.4%）										
回答者の背景	<table border="1"> <tr> <td>治療により子どもいる</td> <td>43.1% (181人)</td> </tr> <tr> <td>治療中（子どもいない）</td> <td>30.7% (129人)</td> </tr> <tr> <td>治療前</td> <td>13.1% (55人)</td> </tr> <tr> <td>治療により妊娠中</td> <td>10.7% (45人)</td> </tr> <tr> <td>治療後（子どもいない）</td> <td>2.4% (10人)</td> </tr> </table>	治療により子どもいる	43.1% (181人)	治療中（子どもいない）	30.7% (129人)	治療前	13.1% (55人)	治療により妊娠中	10.7% (45人)	治療後（子どもいない）	2.4% (10人)
治療により子どもいる	43.1% (181人)										
治療中（子どもいない）	30.7% (129人)										
治療前	13.1% (55人)										
治療により妊娠中	10.7% (45人)										
治療後（子どもいない）	2.4% (10人)										

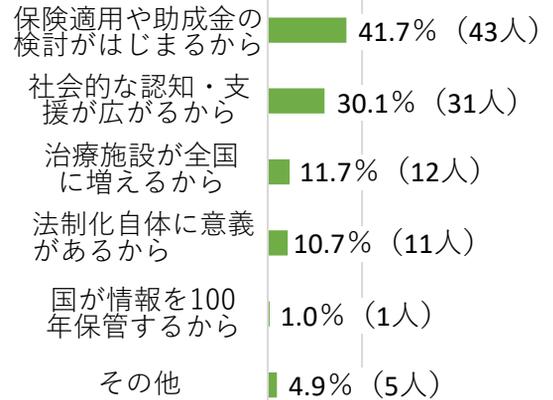
Q あなたは特定生殖補助医療法案に賛成ですか？反対ですか？



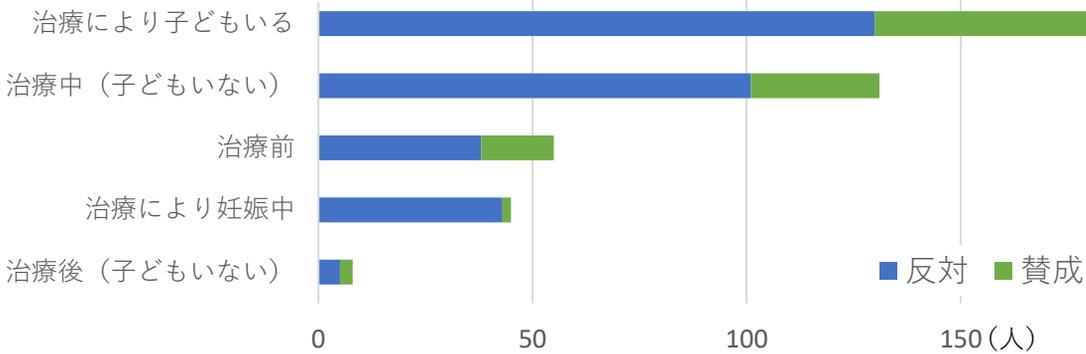
Q 反対の理由として最も重視するのは？



Q 賛成の理由として最も重視するのは？



賛否における患者の背景



反対の方へ条件付き質問①

Q もし、法律施行後も、妊娠後の夫婦に対し、ドナーの周辺情報*が開示でき、子へのテリングに活用でき、未成年の子が出自を知れるとしたら、あなたは賛成しますか？（*周辺情報とは、ドナーの身長・体重・身体の特徴・血液型・趣味・職業・提供理由・病歴・親のルーツなど）

- ドナーの周辺情報の開示があるなら賛成に転じる **55.8%（177人）**
- それでも反対 **44.2%（140人）**

仮に法案が、妊娠後の夫婦にドナーの非特定情報の開示が可能となり、未成年の子がドナーの人となりを知ることが可能となれば、賛成67%（280人） 反対33%（140人）になる

さらに反対の方へ条件付き質問②

Q ドナーの周辺情報の開示に加え、ドナーが非匿名のみに限定され、子の出自を知る権利が保障されるとしたら、あなたは賛成しますか？

※現時点で困難なためあくまでも認識の確認です。

- ドナー周辺情報開示+非匿名ドナー限定により、子の出自を知る権利が保障されるなら賛成に転じる **51.4%（72人）**
- それでも反対（出自を知る権利以外にも譲れない反対理由がある） **48.6%（68人）**

仮に法案が、「ドナー周辺情報開示+非匿名ドナー限定」の出自を知る権利の保障となれば、賛成84%（352人） 反対16%（68人）になる